

## 清水飯田中学校で自衛隊を紹介



自衛隊静岡地方協力本部清水募集案内所（所長・藤井隆裕1等海尉）は3月8日（火）、静岡市立清水飯田中学校において職業講話を実施した。

これは、生徒がさまざまな仕事の内容への理解を深め、素晴らしさや大変さを知り、自分の将来設計や生活に活かす機会を設ける目的で同校から講話依頼があったもの。自衛隊のほか、地元の企業などが集まり、1年生に対し説明を行った。

当日は清水所長が30分ほどの講義を2回に分けて行い、陸・海・空自衛隊の任務や仕事の種類、やりがいなどを、自己の経験を交えながら紹介した。

生徒たちは、真剣にメモを取りながら聞き入り、実際の仕事内容や各種制度、福利厚生に関して多くの質問があり、関心の高さが伺えた。

講話の最後には生徒から「自衛隊のイメージが変わった」「自衛隊の仕事を知ることができた」など、前向きな声を聞くことができた。

清水所は、今後も学校と密接に連携し、自衛隊の意義と魅力を発信しつづける。



## 春うらら 地域との触れ合い 自衛隊を見て・触れて・楽しんで



記念撮影

自衛隊静岡地方協力本部浜北募集案内所（所長・星香織2等陸尉）は、3連休の初日の3月19日（土）、はままつフルーツパーク時之栖（浜松市）で開催された25周年記念イベントに、陸上自衛隊第34普通科連隊（御殿場市）とともに参加した。

当日は、晴天に恵まれ、自衛隊ブースのほか、さまざまなワークショップや乗馬体験、地域の地場産品販売などの出店が並び、多くの家族連れで賑わった。

自衛隊は高機動車と軽装甲機動車を展示するとともに、子ども用制服の試着体験コーナー、オリジナル缶バッジ作成体験、陸・海・空自衛隊の人気投票などを行った。

中でも、車両との写真撮影には長蛇の列ができ、制服試着体験と併せて大好評であった。

オリジナル缶バッジ作成体験では、広報官がこのイベント用に多くの絵柄を準備し、子どもたちがその中からそれぞれお気に入りを選んで楽しんでいった。完成した缶バッジを嬉しそうに付けている姿も見られた。



缶バッジ作成体験

「僕、自衛隊になりたいです」と元氣よく話しかけてくれる子どもや、撤収する自衛隊車両に「また来てね」と大きく手を振り見送る姿もあり、自衛官と地域住民の貴重なふれあいの場となった。

浜北所は、地域の理解を得ながら、より多くの自衛隊の魅力発信の場を開拓し、今後も「身近な自衛隊」をアピールしていく。